

※記載後の報告書は、このままFAXで所轄保健所に送付下さい。(添書不要)

※提出期限:10月20日まで

【FAX送付先】

村山保健所生活衛生課(山形市十日町1-6-6) 023-627-1107
 最上保健所生活衛生室(新庄市金沢字大道上2034) 0233-22-2025
 置賜保健所生活衛生課(米沢市金池7-1-50) 0238-22-3850
 庄内保健所生活衛生課(三川町大字横山字袖東10-1) 0235-66-5486

(別記様式1)

源泉状況報告書

1 温泉地名	
2 報告書作成者	
(1)氏名	
(2)住所	
(3)電話番号	

3 源泉状況

源泉名	湧出状況 (いずれかを ○で囲む)	泉温 ℃		湧出(揚湯)量 L/分		動水位 m		用途別温泉使用量 L/分				
								浴用又は飲用		他目的利用		未利用
								営業用	自家用	用途	使用量	
	自然湧出	6月		6月		6月						
	掘さく自噴	10月		10月		10月						
	動力揚湯	平均		平均		平均						
	自然湧出	6月		6月		6月						
	掘さく自噴	10月		10月		10月						
	動力揚湯	平均		平均		平均						
	自然湧出	6月		6月		6月						
	掘さく自噴	10月		10月		10月						
	動力揚湯	平均		平均		平均						
	自然湧出	6月		6月		6月						
	掘さく自噴	10月		10月		10月						
	動力揚湯	平均		平均		平均						

注1 : 「泉温」、「湧出(揚湯)量」及び「動水位」の各欄には、上段に6月、中段に10月の測定値、下段にはその平均値を記入すること。測定時期が6月又は10月以外の場合は、その測定月を訂正記入すること。動水位は、もとの地表面からの値を記入する。

注2 : 「用途別温泉使用量」の欄には次により記入すること。なお、各用途の使用量の合計は原則として湧出(揚湯)量の平均値に一致すること。

- 温泉を浴用又は飲用及びそれ以外の他目的利用に分けて使用している場合は、各の欄に使用量を記入すること。
- 「他目的利用」の欄には、養魚、暖房、消雪等の用途毎に使用量を記入すること。
- 一旦浴用又は飲用に使用した温泉の一部又は全部を再度他目的利用に使用している場合又はその逆の場合は、その主目的により浴用又は飲用か他目的利用のいずれかに分類して使用量を記入すること。

注3 : 「未利用」の欄には、A;温泉を未利用のまま放流、B;バルブ等で自噴を停止、C;動力装置を停止のいずれかを上段に英字で記入し、Aの場合は併せてその量も下段に記入すること。

【記入例】

源泉名	湧出状況 (いずれかを ○で囲む)	泉温 ℃		湧出(揚湯)量 L/分		動水位 m		用途別温泉使用量 L/分				
								浴用又は飲用		他目的利用		未利用
								営業用	自家用	用途	使用量	
○○源泉	自然湧出	6月	41.0	6月	108.0	6月	36.8	75.0	10.0	消雪	10.0	A
	掘さく自噴	10月	40.2	10月	92.0	10月	35.5					
	○動力揚湯	平均	40.6	平均	100.0	平均	36.2					5.0

※用途別温泉使用量の各用途の使用量の合計は、原則として湧出(揚湯)量平均値に一致すること。 ①=②+③+④+⑤+⑥+⑦